

令和5年度 第2回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和5年7月19日（火）14:00～17:23

場所：本庁舎C棟 3階 311・312・313会議室

出席者：下平会長、畠中委員、胡桃澤委員、宮脇委員、寫田委員、森下委員、熊谷委員、松村委員
篠田委員、今村委員
高田副市長（行財政改革推進本部長）、原田総務部長、佐々木財政課長、福岡人事課長、
澤柳企画課長

欠席者：久保田委員、岩戸委員、西尾委員、和田委員、市瀬委員

1 開会

2 あいさつ

（下平会長）

本日は大変暑い中、多くの委員に出席いただき感謝申し上げます。

最近は気候変動が激しく、九州、西日本、北陸、東北地方で線状降水帯が発生し、多くの水害が発生している。当地域でも6月2日の大雨により土砂崩れ等の災害が発生し、また先日の雨によりアカシアの木が倒れる被害も出ている。これらの災害は人々が都合の良い生活をしてきた結果、不都合な真実が生じてきているものであり、これからは地球環境と共生した、持続可能な社会を作っていく必要があると感じている。

話は変わるが、マイナンバーカードに関する様々な問題が発生しており、特に保険証との紐付けについては、点検作業等自治体にとっても負担が生じている状況がある。急がば回れといったことわざにもあるとおり、スピード感を重視するばかりではなく、少しスピードを落としながら様々な手法を考えることも大事だと思っている。

さて、本日は今年度2回目の行財政改革推進委員会である。協議事項としては、公の施設の管理方法について、指定管理者制度を導入している施設があるが、「令和5年度末に指定管理の協定期間が終了する施設の実績評価と今後の運営方針」を協議することとなっており、本委員会は、市が評価した内容を第三者の視点で評価する委員会である。

前回の会議において、制度の基本的な内容を理解し、実際に現地で一部の施設の状況を確認したことを踏まえ、委員それぞれのお立場でのご意見や提案等をいただきたい。しっかりとご協議いただくことをお願い申し上げます。

（高田副市長）

本日は公私共にお忙しい中、多くの委員に出席いただき感謝申し上げます。

会長のあいさつにもあったとおり、マイナンバーカードや災害等について、行財政改革として単に無駄を省くのではなく、必要などころに必要な人、必要な資源を手配していくことが大切だと考えている。マイナンバー制度については単に事務を省略化するものではなく、個人の手続きを簡略化することでサービスの向上につなげるといった趣旨があるものの、スピード感が重視されると、保険証との紐付け点検等自治体にとってはかなりの労力が必要となる実情がある。

さて、前回の会議では指定管理者制度の概要の説明と、指定管理施設の視察を行っていただいた。委員会として現地視察は初めての試みであり、不手際もあったかと思うが、ぜひ今後に向けてご意見

をいただきたい。また、本日は令和5年度末に指定管理の協定期間が終了する施設の実績評価と今後の方針について説明させていただくので、第三者の視点からの検討、協議をお願いしたい。

3 確認事項

(1) 指定管理者制度について 【佐々木財政課長説明】

- ・指定管理者制度の第三者評価の実施にあたって 資料1-1
- ・指定管理者施設実績評価及び今後の運営方針検討票について 資料1-2
- ・指定管理者制度導入施設一覧 資料1-3

4 協議事項

(1) 令和5年度に指定管理の協定期間が終了する施設の実績について 資料2

No. 1 飯田市福祉会館 (福祉課) 【福沢福祉課長説明】

(梶中委員)

その他、課題等の欄に施設の老朽化に伴い修繕等が必要となる可能性があると記載されているが、修繕にかかる予算はどのように考えているのか。

(福沢福祉課長)

令和5年度中に施設の再点検を実施し、次年度に修繕が必要な箇所を確認した上で、令和6年度に向けて予算要求する予定である。

(梶中委員)

修繕にかかる予算はこれから把握するということか。

(福沢福祉課長)

そのとおり。

No. 2 飯田市南信濃福祉研修センター (福祉課) 【福沢福祉課長説明】

(今村委員)

施設を廃止するという説明であったが、写真を見るとすばらしい施設だと感じた。

現在利用中の2団体は施設を廃止した場合も継続して利用できるのか。

(福沢福祉課長)

飯田市社会福祉協議会と、現在利用中の2団体が継続して利用できるよう検討している。

(今村委員)

現在利用中の2団体が継続して利用できるようにしてほしい。

(胡桃澤委員)

利用者数を見るとまちまちだが、定員はあるのか。

(福沢福祉課長)

部屋ごとの定員は設けているが、サービスを受ける施設ではないため、公民館のように利用されている。

No. 3 飯田市南信濃障害者等活動支援センター (福祉課) 【福沢福祉課長説明】

(篠田委員)

指定管理者の創意工夫により、利用者数の増加や地域活性化につながる事業展開が期待できるということか。

(福沢福祉課長)

人口は減少しているもののひきこもり等の潜在的な課題があり、また志のある事業者も地域に存

在していることから、利用者の掘り起こしを進めていきたい。

なお事業者の選定については、プロポーザル方式を検討している。

(寫田委員)

利用者が地域外の施設等に転居するケースも出てきている現状の中で、指定管理者を変更することで施設が抱える課題を解決することは難しいのではないかと感じた。

また、光熱水費が増額となっている施設が多い中で、光熱水費が減少している状況から鑑みると、施設があまり利用されていないのではないかと。

(福沢福祉課長)

施設の運営は国の補助金で成り立っている状況がある。

1名の利用者が日中に4時間以上軽作業に従事すると1日あたり3千円程度の収入になり、月額にすると約7万円、年間にすると約80万円の収入になるため、常時5～6名程度の利用者がいれば概ね経営が成り立つと考えているが、現在の利用者は4名という状況である。

利用促進のための家庭訪問等を行い、利用者を増やしていきたいと考えている。

(寫田委員)

利用者は減っているものの人件費が横ばいという状況だが、どのように考えているのか。

(福沢福祉課長)

利用者が増えれば人件費が増える傾向にあるものの、現状では今後もこのような形で推移していくと思われる。

(寫田委員)

医療の分野では利用者が減れば人員配置を見直すことが一般的であるため、人員配置にも工夫がいと感じた。

(今村委員)

ひきこもりの現状を把握しているか。

(福沢福祉課長)

飯田市全体の状況を把握していく必要もあるが、地理的なこともあり、他地域から利用することは難しいと考えているため、南信濃地区の状況把握に努めたい。

No. 4 飯田市かなえデイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

※質問・意見なし

No. 5 飯田市上郷デイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(胡桃澤委員)

赤字が出ているが、市からの補てんはなく、過去からの留保財源で賅っていると聞いたがそのとおりなのか。また、施設の修繕は市が対応すると聞いているがよろしいか。

(乾長寿支援課長)

赤字の補てんは行っておらず、指定管理者の基金で賅っていただいている。ただしコロナ禍においては、市が直営で施設の運営をした場合の経費を積算し、必要に応じて指定管理料を算出している。

また修繕については、小規模なものは指定管理者、大規模なものは市が対応しており、利用者サービスに影響があるものは市で予算化している。

なお、施設の改修については長寿命化計画を策定しており、今後計画的に対応していく。

(熊谷委員)

認知症対応型を休止したとの説明があったが、休止したことで経営状況が悪化したと思う。今後

認知症対応型が再開できなかった場合、市はどのように対応するのか。

(乾長寿支援課長)

指定管理者からは、退職者の補充ができていない状況であり人的対応が難しいと聞いているが、再開したい意向はあるため、現時点では指定管理者に尽力いただき、動向を注視したい。

(鳶田委員)

認知症対応型を休止しているとのことだが、利用者の方は施設の利用を継続しているのか。

その他、課題等の欄に地盤沈下によりドアの開閉に支障をきたしている箇所があるとの記載があるが、認知症の方にとってドアは重要なものではないか。

(乾長寿支援課長)

資料に記載のドアについては、職員が使用するものだと聞いている。

No. 6 飯田市いいだデイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

※質問・意見なし

No. 7 飯田市北部デイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(森下委員)

過去には人員が足りていないと聞いたが、その後改善されたと聞いている。

(乾長寿支援課長)

数年前までは人手不足だったと聞いているが改善されており、現在は入浴だけの施設利用も勧めている状況である。

(鳶田委員)

利用者の満足度が 58%と、他施設と比べて低いように感じる。雨漏りやトイレの異臭へはどのように対応しているのか。

(乾長寿支援課長)

換気口から雨漏りしていることは把握しており、蓋付きのものに交換したらどうか提案している。トイレの異臭については、対応が必要と感じている。

No. 8 飯田市竜東デイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(鳶田委員)

設備、環境に対する利用者の満足度が 52%と低い。歩行器使用の利用者が多い中、安全確保にどのような対策を講じているのか。

(乾長寿支援課長)

歩行器使用の利用者にとっては、段差等が課題となっているため、現地を確認し、必要な箇所は予算対応していきたい。

No. 9 飯田市かわじデイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

※質問・意見なし

No. 10 飯田市西部デイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(熊谷委員)

決算状況の支出欄に記載の上記以外の事業費が増加しているが、どのような支出なのか。

(乾長寿支援課長)

食事提供の費用や車両の購入費用が増加していると推察される。

(熊谷委員)

令和3年度から赤字が大きいが、経営は改善されているのか。

(乾長寿支援課長)

予算編成の段階では収支が見合う計画であったが、今後上半期の状況を指定管理者から聞き取る予定である。

(下平会長)

福祉に関する仕事は憲法第25条を始め、様々な法令等の制限があり大変だと感じた。

デイサービスは介護人材の確保等の課題を踏まえ、施設の統廃合の検討を継続することのだが、今後の方向性についてはどのように考えているのか。

(乾長寿支援課長)

デイサービスは民間でも運営されていることから、民間施設が充足していれば行政が運営する必要があるかを検討する必要があると考えている。現在策定している第9期介護保険計画の中で日常生活圏域ごとの利用状況を把握し方向性を検討した上で、5年後に指定管理を継続するかどうか判断したい。

(下平会長)

国の補助等がないと経営が成り立たないのではないのか。

(乾長寿支援課長)

介護保険収入は介護保険制度で決められており裁量がありませんため、経営状況に応じた値上げ等はできない状況である。

介護度が高いと介護保険収入が増える傾向にあり、利用時間によっても介護保険収入は異なる。

(下平会長)

赤字を補ってんしながら運営している指定管理者もあるため、手厚い対応をお願いしたい。

休憩 (15:59~16:10)

No. 11 飯田市南信濃デイサービスセンター (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(今村委員)

指定管理期間が2年間であったのは、建物が古かったためか。

(乾長寿支援課長)

施設では温泉水を利用しているため、管が傷みやすい状況にあることが老朽化の原因である。

(今村委員)

2年間とした期間の考え方を教えていただきたい。

(乾長寿支援課長)

この後説明する遠山荘と一体的に施設のあり方を検討するため、2年間とした。

(今村委員)

施設の廃止は利用者に大きな影響を与えないか。

(乾長寿支援課長)

現在の利用者については、上村または民間のデイサービスで継続してサービスが受けられるよう調整する。また現在デイサービスで働いている方については、遠山荘で働いていただく予定である。

(今村委員)

困る人がいないよう配慮いただきたい。

(乾長寿支援課長)

丁寧に対応していく。

(今村委員)

写真をみると立派な施設であるので、今後も利活用できるようにしてほしい。

No. 12 特別養護老人ホーム遠山荘 (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(寫田委員)

利用者が減っているものの職員は増えている状況であるが、今後の見通しはどのように考えているのか。

(乾長寿支援課長)

現在は定員 50 名のところ、45 名が利用している状況であり、指定管理者には職員を増やすことで受け入れ人数を増やしたいといった意向がある。

また人件費は定期昇給で増額となっている部分もある。

No. 13 飯田市南信濃高齢者共同住宅 (長寿支援課) 【乾長寿支援課長説明】

(松村委員)

居室 19 室で利用者 247 人となっているのはどのような関連があるのか。

(乾長寿支援課長)

夫婦で利用する方もいるため、想定していた利用者数を上回る 247 名となった。

No. 14 飯田市休日夜間急患診療所 (保健課) 【宮嶋保健課長説明】

(胡桃澤委員)

利用状況をみると、患者数が少ないのではないかと。

(宮嶋保健課長)

患者数が少なく感じられるかと思うが、休日及び夜間に診察してもらえる場所を確保する必要があると考えている。

(胡桃澤委員)

民間の医療機関でも休日や夜間に診察を受けることは可能だと思うが、休日夜間急患診療所は維持していかなければならないという判断なのか。

(宮嶋保健課長)

現時点ではそのように判断しているが、今後休日夜間急患診療所のあり方については検討していきたいと考えている。

(寫田委員)

医師の高齢化により医療体制の維持が難しいとの記載があるが、市立病院の医師はどのように関わっているのか。

(宮嶋保健課長)

市立病院は三次救急の役割を担っているため、休日夜間急患診療所へ市立病院の医師が派遣されることはない。

(寫田委員)

休日や夜間は通常の診察とは状況が異なることも多いため、何かあった場合に市立病院と連携できるシステムを構築しても良いのではないかと。

(宮嶋保健課長)

休日夜間急患診療所の医師の判断で、市立病院や当番医での受診を案内することもある。

(寫田委員)

新型コロナウイルス感染症の影響により体調不良に不安を感じる人が多いため、病院で診てもら

いたいと思う人が増えているのではないかと。

(高田副市長)

飯伊地域包括医療協議会という組織があり、当圏域の診療体制の割り当てを担っている。

休日の昼間は一時医療を当番医が担い、救急医療は市立病院を中心とした入院施設がある6病院の輪番制で担っているが、休日夜間急患診療所の役割は夜間の時間帯等当番医が診ることができない患者さんを診察することだと考えている。

当圏域の医師の高齢化に伴い休日夜間の診療体制を検討する必要があるため、それを今後の課題の欄に記載させていただいた。

(今村委員)

休日夜間の診療体制については、市と医師会で検討するのか。

(高田副市長)

医療圏域ごとの病床の割り振りは県が行っており、病床数についても県が医療圏域ごとに決めているが、救急医療体制については市町村と医師会で協議して決めていくことになる。休日夜間急患診療所については飯田市が設置しているが、当番医の報酬等については各市町村が分担して負担しているため、今後の休日夜間の診療体制については自治体と医師会と一緒に協議していく。

(今村委員)

病床の割り振り等について、県へ意見することはできるのか。

(高田副市長)

医師会または市町村の代表から意見を伝えることはできる。

No. 15 飯田市健康増進施設 (保健課) 【宮嶋保健課長説明】

※質問・意見なし

No. 16 飯田市地域人形劇センター飯田市川本喜八郎人形美術館 (文化会館)

【下井文化会館館長説明】

※質問・意見なし

No. 17 飯田市天龍峡温泉交流館 (商業観光課) 【山口商業観光課長説明】

(今村委員)

指定管理者からは最低賃金の改定等柔軟な指定管理料の見直しの要望があったとのことだが、指定管理料はどのように積算されているのか。

継続的な雇用を考慮し、人件費の削減は行わないようにお願いしたい。

(山口商業観光課長)

指定管理料には人件費も考慮して積算されているが、人材を確保するには一定の賃金水準を確保する必要があるということだと認識している。

また、なるべく安い利用料金で温泉を提供したいという思いもあるが、経営を維持するためには利用料金の値上げも検討したいといった要望もあった。

(今村委員)

指定管理料の見直しや利用料金の値上げについてはこれから検討されるのか。

(山口商業観光課長)

令和6年度に向けて指定管理者とこれから協議を進めたい。

No. 18 座光寺つどいの広場 (子育て支援課) 【小澤子育て支援課長説明】

(寫田委員)

アンケートは誰を対象に行ったのか。

(小澤子育て支援課長)

利用者の家族である。

(寫田委員)

アンケートの回答内容を教えていただきたい。

(小澤子育て支援課長)

いつも優しく接してくれて感謝している、コロナ禍の中半日でも利用することができてありがたい、といった回答があった。

(寫田委員)

場としての提供が喜ばれているということか。知識の提供についての意見はあるのか。

(小澤子育て支援課長)

場としての提供も喜ばれているが、保育所の入所相談や子育て相談等の知識の提供についても喜ばれていると考えている。

(寫田委員)

決算の状況をみると、収支が0円となっているがどう捉えたらよいか。

(小澤子育て支援課長)

指定管理者は複数の施設を運営しているため、その中で調整している。

(寫田委員)

令和3年度の利用者が少なかったのはなぜか。

(小澤子育て支援課長)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、閉館や予約制といった対策を講じたためである。

No. 19 飯田市松尾天竜グラウンド (生涯学習・スポーツ課)

【吉川スポーツ振興担当専門主査説明】

(寫田委員)

1時間300円という料金は昼夜問わずの料金設定か。

(吉川生涯学習・スポーツ課係長)

そのとおり。

(寫田委員)

夜間は照明を使用することになると思うが、昼間と同じ料金なのか。

(吉川スポーツ振興担当専門主査)

利用料金については条例で定められている。

(下平会長)

各委員の評価結果を集約し、第三者評価の結果とする。

5 今後のスケジュール 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

○今年度の行財政改革推進委員会の開催予定

・第3回は令和6年3月末頃に開催予定

行財政改革大綱に基づく実行計画(令和4年度の取組、5年度の計画)ほか

(畠中委員)

事前に資料が配布されるが、資料の量が多いためなるべく早く送付いただきたい。

(原田総務部長)

次回から対応させていただく。

6 その他 【岩崎行革・施設マネジメント係長説明】

○委員報酬及び旅費について

- ・個人番号の提供書（源泉徴収関連事務）をご記入いただき、個人番号カード（表面・裏面）の写しを添付してください（すでに市（市の別の部署を含む）へ提出していただいている場合は不要です。）。
- ・会議開催会場まで2km以上の距離がある方は、旅費が支給されますので、「飯田市行財政改革推進委員交通調査表」をご記入いただき、市へ提出してください（新規の委員及び変更がある委員に限る。）。

7 閉会

(高田副市長)

本日は長時間にわたり熱心にご協議いただき、感謝申し上げます。

本日いただいたご意見を活かしながら、行財政改革推進本部会議において来年度以降の方針を決定し、指定管理施設あるいは用途廃止に向けて手続きを進めさせていただく。

今回の会議では、行財政改革の全体像をお示しした上で、具体的な取組みについて説明させていただきたいと考えているため、今後ともご協力をお願いしたい。